



## 2020年1月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年9月11日

上場会社名 株式会社トランザス  
コード番号 6696 URL <https://www.tranzas.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤吉 英彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 奥 文郎

TEL 045-650-7000

四半期報告書提出予定日 2019年9月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年1月期第2四半期の連結業績(2019年2月1日～2019年7月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年1月期第2四半期	331	31.7	91		93		99	
2019年1月期第2四半期	251	57.6	101		100		101	

(注) 包括利益 2020年1月期第2四半期 99百万円 ( %) 2019年1月期第2四半期 100百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年1月期第2四半期	31.56	
2019年1月期第2四半期	32.34	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年1月期第2四半期	1,176	1,104	93.8
2019年1月期	1,347	1,203	89.2

(参考) 自己資本 2020年1月期第2四半期 1,103百万円 2019年1月期 1,202百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年1月期		0.00		0.00	0.00
2020年1月期		0.00			
2020年1月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年1月期の連結業績予想(2019年2月1日～2020年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	888	27.9	20		17		17	5.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
詳細は7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年1月期2Q	3,164,500 株	2019年1月期	3,159,500 株
期末自己株式数	2020年1月期2Q	111 株	2019年1月期	111 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年1月期2Q	3,160,715 株	2019年1月期2Q	3,153,440 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社はターミナルソリューション事業を展開し、通信機能を持った端末であるIoT端末や機器装置（ターミナル）の製造販売を行うIoTソリューションサービスとそれらを利用したシステム・サービスを提供するIT業務支援サービスを、前連結会計年度に引き続き提供しております。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策等による効果から、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善の兆しも見え、緩やかな回復基調が持続してまいりました。しかしながら、国際経済における新興国経済の成長鈍化、欧州情勢、米国と中国の経済対立等の景気下振れリスク等を受けて、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境の下で、当社は、IoTの活用により、労働力不足の解消や高付加価値ホスピタリティーの提供を目標とし、その実現に取り組んでまいりました。前連結会計年度から引き続き、当社グループは製品販売型からサービス提供型へとビジネスモデルの転換を進めており、現在は収益の面においては端境期にあたり、低調な実績となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は331,157千円（前年同四半期比31.7%増）、営業損失は91,899千円（前年同四半期は101,690千円の損失）、経常損失は93,765千円（前年同四半期は100,344千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は99,755千円（前年同四半期は101,974千円の損失）となりました。

なお、当社は「ターミナルソリューション事業」の単一セグメントであるため、セグメント毎の記載をしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ170,944千円減少し、1,176,707千円となりました。これは主に、売掛金が254,001千円減少した一方で、現金及び預金が67,906千円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ72,008千円減少し、72,227千円となりました。これは主に、買掛金が83,939千円減少したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ98,936千円減少し、1,104,480千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が99,755千円減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年3月13日付で公表しました業績予想からの変更はありません。なお、上記予想は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	792,559	860,465
売掛金	320,674	66,672
製品	61,617	58,621
仕掛品	—	5,692
原材料及び貯蔵品	144	473
その他	90,845	26,505
貸倒引当金	△7	△2
流動資産合計	1,265,834	1,018,428
固定資産		
有形固定資産	25,400	41,918
無形固定資産	36,369	48,417
投資その他の資産	20,047	67,943
固定資産合計	81,818	158,279
資産合計	1,347,652	1,176,707
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	110,279	26,339
未払法人税等	—	2,647
賞与引当金	10,366	8,727
その他	23,590	31,303
流動負債合計	144,236	69,017
固定負債		
その他	—	3,209
固定負債合計	—	3,209
負債合計	144,236	72,227
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	437,237	437,662
資本剰余金	378,087	378,512
利益剰余金	386,790	287,034
自己株式	△246	△246
株主資本合計	1,201,868	1,102,962
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△154	—
為替換算調整勘定	993	808
その他の包括利益累計額合計	839	808
新株予約権	708	708
純資産合計	1,203,416	1,104,480
負債純資産合計	1,347,652	1,176,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
売上高	251,527	331,157
売上原価	191,576	259,059
売上総利益	59,950	72,098
販売費及び一般管理費	161,640	163,997
営業損失(△)	△101,690	△91,899
営業外収益		
為替差益	1,481	—
還付加算金	—	659
補助金収入	—	106
その他	26	31
営業外収益合計	1,508	798
営業外費用		
株式交付費	150	190
為替差損	—	1,322
持分法による投資損失	—	1,082
その他	12	68
営業外費用合計	162	2,664
経常損失(△)	△100,344	△93,765
特別損失		
倉庫移転費用	1,281	—
固定資産除却損	0	5,990
特別損失合計	1,281	5,990
税金等調整前四半期純損失(△)	△101,625	△99,755
法人税等	349	—
四半期純損失(△)	△101,974	△99,755
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△101,974	△99,755

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
四半期純損失(△)	△101,974	△99,755
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1,049	154
為替換算調整勘定	276	△184
その他の包括利益合計	1,326	△30
四半期包括利益	△100,648	△99,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△100,648	△99,786

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年2月1日 至 2018年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年2月1日 至 2019年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△101,625	△99,755
減価償却費	18,648	18,730
固定資産除却損	0	4,158
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,021	△1,639
受取利息及び受取配当金	△17	△31
支払利息	—	62
為替差損益(△は益)	279	283
持分法による投資損益(△は益)	—	1,082
売上債権の増減額(△は増加)	209,189	207,066
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,966	△12,088
仕入債務の増減額(△は減少)	△49,937	△83,939
その他の資産の増減額(△は増加)	△15,988	18,555
その他の負債の増減額(△は減少)	△24,555	5,777
小計	△5,004	58,257
利息及び配当金の受取額	17	31
利息の支払額	—	△62
法人税等の支払額	△67,958	—
法人税等の還付額	—	47,728
営業活動によるキャッシュ・フロー	△72,945	105,955
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△4,051	△15,761
無形固定資産の取得による支出	△14,156	△19,095
長期前払費用の取得による支出	—	△1,328
その他	1,308	△2,078
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,899	△38,264
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	—	△166
株式の発行による収入	5,540	850
自己株式の取得による支出	△171	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,368	683
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△468
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△84,467	67,905
現金及び現金同等物の期首残高	1,102,637	792,559
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,018,170	860,465

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

①連結の範囲の重要な変更

該当事項はありません。

②持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、株式会社ピースリーは新たに設立したため、持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、ターミナルソリューション事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。